

連載31

そして音楽の旅は続く

## CMは15秒、30秒のドラマなので瞬間芸

ジャズボーカリスト  
星乃けい

official website  
<https://www.hoshinokei.com>

春は出会いと別れの季節。普段は何気なく生きていたとしても、桜吹雪にたたずめば、その美しさと儚さに感傷的な自分が現れますよね。ジャズのスタンダード曲にも桜の出でくる“Poor Butterfly (1916)\*”という曲があって、グツときてしまいます。主人公は可愛い日本人女性と素敵なアメリカ人水夫(sailor man)の青年。出会った二人は瞬間に恋に落ちて、来る日も来る日も桜の木の下で逢瀬を重ねる。彼は必ず戻ると約束して出航、以来彼女は桜の木の下で毎日ずっと彼を待っている。もう他の誰をも愛せないから、もし彼が戻ってこないとしても私は泣いたりしない、ただ死ぬだけ。きゃー!素敵!こんな静かな炎のような恋をしてみたい!とは言え、なかなか機会に恵まれませんので、唄う時はどっぷりとそのつもりで疑似体験をさせてもらっています。

さて、お話を若い日に戻しましょう。東芝EMIとお別れをした私は表舞台から消え、その後はスタジオワークと作詞家をしていました。高校生からの業界なので、EMIを辞めたという仕事を回してくれる方々が居て本当に助かりました。私がスタジオで唄う仕事は、大きく分けて四つでした。CM、ガイドボーカル、コーラス、カラオケ



▲The Sound Of Silence/Carmen McRae  
Atlantic P-6087

※(1916)は作詞、作曲の年号

でした。CMはテレビでガンガン流れる大企業のもは有名なアーティストのものですが、世の中にはラジオとか、どこで使用するのか分からないようなものが山ほどあります。何処かのお煎餅やお饅頭、カイワレ大根や…いろいろあったなあ。CMは15秒とか30秒のドラマなので瞬間芸の楽しさっていうのかな、特色を凝縮して演じる面白さがありました。ガイドボーカルは、作家さんの仕上げた曲の雰囲気伝えるために唄う仕事と、完パケのオケに歌手の方に練習してもらうために唄う二種類の仕事です。こちらはCMより広がった世界を表現する必要がありました。作家さんの曲をダメにしない、アイドルさんにニュアンスを伝えるなどの責任もありましたが、責任があればあるほどOKが出た時の達成感は大きかったと思います。コーラスは子供の時から苦手で。人と一緒

に歌うと隣の人に引っ張られちゃうんです。全然ダメダメです。なので私のコーラスの仕事は一人でやるものだけでした。例えば歌手に絡むセクシー系のスカットで、ため息や喘ぎ声の注文だったりします。初めての喘ぎ声の時は某有名ベテラン役者さんのレコーディングでした。恥ずかしくて出来ないと言っていたら彼に叱られました。僕はプロの役者、君はプロの歌手…わかるよねって。吹っ切れました。いつだか大河ドラマで顔を拝見した時には今もご活躍で嬉しかったし「プロ」の覚悟みたいなものを教えてくださった大切な恩人だとしみじみと思いました。あら、大変!紙面の都合で続きはまた次回に!



2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をリリース。ジャズファン、ジャズメン、オーディオファンから高く評価支持される